



M-Business Anywhere デベロッパ・クイック・スタート・ガイド

改訂 2007 年 6 月

著作権と商標

Copyright © 2007 iAnywhere Solutions, Inc. Portions copyright © 2007 Sybase, Inc. All rights reserved.

iAnywhere Solutions, Inc. は Sybase, Inc. の関連会社です。

iAnywhere は、(1) すべてのコピーにこの情報またはマニュアル内のその他の著作権と商標の表示を含める、(2) マニュアルの偽装表示をしない、(3) マニュアルに変更を加えないことが遵守されるかぎり、このマニュアルをご自身の情報収集、教育、その他の非営利の目的で使用することを許可します。このマニュアルまたはその一部を、iAnywhere の書面による事前の許可なく発行または配布することは禁じられています。

このマニュアルは、iAnywhere が何らかの行動を行う、または行わない責任を表明するものではありません。このマニュアルは、iAnywhere の判断で予告なく内容が変更される場合があります。iAnywhere との間に書面による合意がないかぎり、このマニュアルは「現状のまま」提供されるものであり、その使用または記載内容の誤りに対して iAnywhere は一切の責任を負いません。

iAnywhere®、Sybase®、<http://www.ianywhere.com/trademarks> に示す商標は Sybase, Inc. またはその関連会社の商標です。® は米国での登録商標を示します。

Java および Java 関連のすべての商標は、米国またはその他の国での Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の会社名と製品名は各社の商標である場合があります。

目次

| | |
|--|-----|
| はじめに | v |
| このマニュアルの内容 | vi |
| システムの稼働条件 | vii |
| | |
| デベロッパ・クイック・スタート・ガイド | 1 |
| Windows への M-Business Server のインストール | 2 |
| モバイル・デバイス、テスト・ユーザ、テスト・チャンネルの設定 | 5 |
| デバイス、ユーザ、チャンネルの設定テスト | 11 |
| 次の手順 | 14 |
| 索引 | 15 |

はじめに

- ◆ 「このマニュアルの内容」 vi ページ
- ◆ 「システムの稼働条件」 vii ページ

このマニュアルの内容

『*M-Business Anywhere* デベロッパ・クイック・スタート・ガイド(バージョン6.5 用)』は、M-Business Anywhere 環境を初めて使用する開発者が、30 ～ 60 分以内に次の目的を達成できるように作成されています。

- ◆ M-Business Server をインストールする
- ◆ モバイル・デバイスに M-Business Client をインストールする
- ◆ M-Business Server にテスト・ユーザを設定する
- ◆ M-Business Server にテスト・チャンネルを設定して、モバイル・デバイスに Web コンテンツを配布する
- ◆ モバイル・デバイスと M-Business Server を同期化し、テスト・チャンネルのコンテンツをダウンロードおよび表示する

このマニュアルを読み終えると、サポートする必要があるモバイル・デバイスで、対象となる Web コンテンツを希望どおりに動作させるために必要な設計の課題に専念するための準備が整います。

関連マニュアル

他の M-Business Anywhere マニュアルへの参照先がクリックابل・リンクとして正常に作動するためには、すべての M-Business Anywhere マニュアルの PDF ファイルを、同じディレクトリに配置する必要があります。

◆ M-Business Anywhere の完全なマニュアル・セットのダウンロード

- ・ M-Business Anywhere の完全なマニュアル・セットは、次のサイトからダウンロードできます。

http://www.ianywhere.jp/developers/product_manuals/mbusiness_anywhere/

システムの稼働条件

◆ システムの稼働条件の確認

1. ワークステーションがテスト用に設定されていることを確認します。

このワークステーションには、**M-Business Server** をインストールするホスト・マシンと同じものを使用してもかまいません。あるいは、ネットワークを介してホストに接続できる他のワークステーションを使用してもかまいません。

オペレーティング・システム - ワークステーションには、**Microsoft Windows** の次のバージョンの1つが必要です。

- ◆ 2000 Professional
- ◆ 2000 Server
- ◆ XP Professional
- ◆ 2003 Server

ブラウザ - ワークステーションには、サポートされている次のブラウザの1つが必要です。

- ◆ Internet Explorer 5.5
- ◆ Internet Explorer 6.0
- ◆ Firefox 1.x

注意

M-Business Client ソフトウェアをインストールするには、管理者としてワークステーションにログインする必要があります。

2. モバイル・デバイスがテスト用に設定されていることを確認します。

モバイル・デバイスには、**M-Business Server** 管理者コンソールにアクセスしてデバイスを同期するワークステーションに接続できる必要があります。**Windows XP** ワークステーションを使用している場合は、ワークステーション自体をテスト・デバイスとして使用できます。

必要な **Windows XP** - Windows XP Tablet Edition、または Windows XP Professional。

Windows Mobile の稼働条件 - Windows Mobile 2003 または Windows Mobile 5 が動作し、2 MB の空きメモリを持つ Windows Mobile デバイス

注意

作業を続行する前に、デスクトップ・ワークステーションでデバイスを同期するようにあらかじめ設定しておく必要があります。同期に必要なものは、Windows Mobile 5 と Windows Mobile 2003 デバイスの場合は ActiveSync、Windows XP デバイスの場合はネットワーク接続 (直接同期) です。新しいデバイスがある場合は、同梱されているマニュアルを参照して、正しく設定してください。

3. M-Business Server をインストールする Windows サーバが、次のハードウェアとソフトウェアの要件を満たしていることを確認します。
 - ◆ 2 GB の RAM
 - ◆ Pentium 4 2.5 GHz 以上の CPU
 - ◆ 次のいずれかのオペレーティング・システム
 - ◆ Windows 2000 Server Service Pack 4
 - ◆ Windows 2003 Server Service Pack 1
4. 対象となるサーバの管理ユーザのログイン情報を持っていることを確認します。

第 1 章

デベロッパ・クイック・スタート・ガイド

目次

| | |
|--|----|
| Windows への M-Business Server のインストール | 2 |
| モバイル・デバイス、テスト・ユーザ、テスト・チャンネルの設定 | 5 |
| デバイス、ユーザ、チャンネルの設定テスト | 11 |
| 次の手順 | 14 |

Windows への M-Business Server のインストール

注意

既存の M-Business Anywhere インストールをアップグレードする方法や、UNIX プラットフォームにインストールする方法については、このマニュアルでは説明していません。詳細については、『M-Business Anywhere 管理ガイド』を参照してください。このマニュアルをダウンロードする方法については、「[関連マニュアル](#)」 [vi ページ](#)を参照してください。

Windows マシンに M-Business Server を新規にインストールする場合は、次の手順に従います。各手順についてさらに詳細な説明が必要な場合は、「[M-Business Server のアップグレードとインストール](#)」 『M-Business Anywhere 管理ガイド』を参照してください。このリンクが動作しない場合は、マニュアルのダウンロード方法を「[関連マニュアル](#)」 [vi ページ](#)で確認してください。

◆ Windows マシンへの M-Business Server の新規インストール

1. 対象のサーバで、管理者として Windows にログインします。
2. このマシンですでに使用されているポート番号を調べます。

注意

M-Business Server インストーラは、デフォルトでポート番号 80 を使用します。ポート 80 がすでに使用されている場合は、使用されていない別のポート番号を指定する必要があります。

- ◆ サーバでブラウザ・ウィンドウを開き、次の URL を入力します。

<http://localhost:80>

- ◆ エラーでないページが表示された場合、そのマシンの Web サーバではすでにポート 80 が使用されていることを示します。別のポート番号を使用して上記の URL にアクセスし、使用されていないポート番号を探してください。ポート番号はあとで参照できるようにメモしておきます。ポート番号 8091 または 8099 は使用しないでください。これらの番号は、M-Business Server によって自動的に使用されます。

3. M-Business Server インストーラをダウンロードします。

- ◆ ブラウザを開き、次のサイトへ移動します。

http://www.ianywhere.jp/dl/dl_evl.html

- ◆ [ダウンロード] ボタンをクリックします。
- ◆ お客様のログイン情報入力画面が表示されますので、ログイン情報を入力して下さい。お客様情報をお持ちでない場合は、お客様情報登録へボタンをクリックし、ログイン情報を取得して下さい。

- ◆ ライセンス契約を確認し、ドロップダウンリストより [同意する] を選択し、次へボタンをクリックします。
- ◆ ダウンロード・ページで[M-Business Anywhere Developer Edition] をチェックし、選択ボタンをクリックします。
- ◆ M-Business Anywhere 6.5 for Windows のダウンロード・ページで、[M-Business Anywhere for Windows] のリンクをクリックします。
- ◆ インストーラ・ファイル **MBAnywhereW.exe** をテンポラリ・ロケーションに保存します。

注意

この手順で指定した電子メール・アドレスに、ライセンス番号が送信されます。インストーラは直ちに起動できますが、ライセンス番号を受け取るまでインストールを完了することはできません。

4. M-Business Server インストーラを実行します。

- ◆ インストーラを保存したフォルダを開き、**MBAnywhereW.exe** ファイルをダブルクリックして、InstallShield ウィザードを開始します。

すぐに [Welcome] パネルが表示されます。

- ◆ [Next] をクリックします。

[Server License] パネルが表示されます。

- ◆ [Server License] パネルで、サーバのライセンス番号を入力します。

ライセンス番号は、上記の手順 3 で指定したアドレスに送信された電子メールを参照してください。

- ◆ [Sync Port] パネルが表示されるまでの次の 4 つのパネルで、デフォルトの設定を受け入れられます。次のパネルがこの順に表示されます。

- ◆ [Server Functionality]
- ◆ [License Agreement]
- ◆ [Choose Destination Location]
- ◆ [User Friendly Server Name]

次に、[Sync Port] パネルが表示されます。

- ◆ このマシンで使用されていないポート番号を入力します。

警告

対象のマシンでポート 80 がすでに使用されている場合は、使用されていない別のポート番号を [Sync Port] パネルに入力してください。

- ◆ [Next] をクリックします。

[UI Port] パネルが表示されます。

- ◆ 次の3つのパネルでは、このマシンで使用されていないポート番号を入力します。次のパネルがこの順に表示されます。
 - ◆ [UI Port]
 - ◆ [Database Port]
 - ◆ [Soap Server Port]

警告

対象のマシンでデフォルトのポート番号がすでに使用されている場合は、使用されていない別のポート番号を入力してください。

次に、[Host Name] パネルが表示されます。

- ◆ [Host Name] パネルで [Next] をクリックし、M-Business Anywhere の設定処理を開始します。

注意

InstallShield Wizard ウィザードの [Complete] パネルでは、あとでコンピュータを再起動することを選択できますが、再起動するまでこの手順を続行することはできません。

5. インストールが成功したことを確認します。

- ◆ マシンを再起動します。
- ◆ ブラウザで、<http://localhost:8091> に移動します。

M-Business Anywhere のログイン・ページが表示されたらインストールは成功しており、作業を続行できます。ログイン・ページが表示されない場合は、上記の手順1からやり直します。

インストールの成功を確認したら、次の項「[モバイル・デバイス、テスト・ユーザ、テスト・チャンネルの設定](#)」5 ページに進みます。

モバイル・デバイス、テスト・ユーザ、テスト・チャネルの設定

◆ モバイル・デバイス、テスト・ユーザ、テスト・チャネルの設定

1. テスト・デバイスが XP Tablet の場合は、手順 3 に進みます。
2. テスト・デバイスが別の Microsoft OS デバイスの場合は、そのデバイスが、使用しているデスクトップ・ワークステーションと同期できるかどうかを確認します。

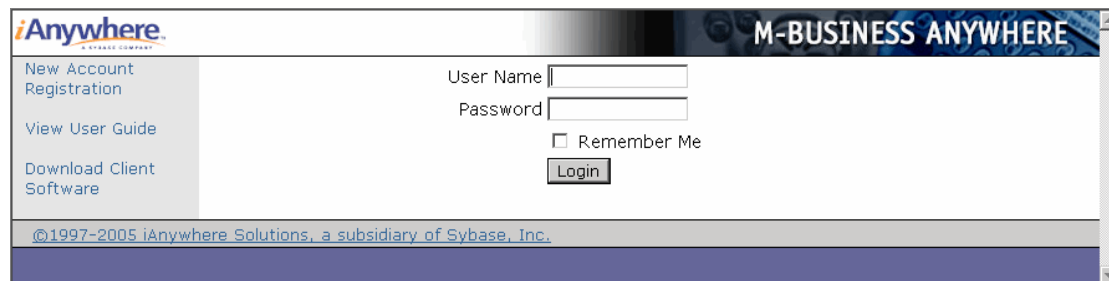
Microsoft OS デバイスは ActiveSync を介して同期されます。詳細については、デバイスに同梱されているマニュアルを参照してください。

テスト・デバイスが同期できることを確認したら、デバイスをクレードルに装着したままにします。

警告

デバイスが同期できるようになるまで、作業を進めないでください。

3. M-Business Server Administrator Console を開きます。
Web ブラウザで、<http://localhost:8091> に移動します。



4. 上部の [New Account Registration] リンクをクリックします。
[language preference] 画面が表示されます (ステップ 1/7)。
5. 使用する言語をクリックし、[Next] をクリックします。
[device operating system] 画面が表示されます (ステップ 2/7)。
6. 使用するデバイスのオペレーティング・システムをクリックします。
 - ◆ PalmOS – 任意の Palm OS デバイス用 (Microsoft OS を実行する Palm 製デバイスを除く)
 - ◆ Pocket PC – 「Pocket PC」のブランドが表示された、電話機能のないデバイス用 (Windows Mobile 5 デバイスを含む。インストーラは自動的に古い Pocket PC と新しい Windows Mobile 5 Pocket PC を検出し、正しいバージョンをインストールします)

- ◆ **PPC-Smartphone** – Microsoft Smartphone デバイス用 (Microsoft 製以外の「Smartphone」デバイスでは使用できません)
 - ◆ **Windows** – Windows XP オペレーティング・システムを使用するすべてのデバイス用。たとえば、Tablet PC やラップトップ。
7. [次へ] をクリックします。
[ダウンロード] 画面が表示されます (ステップ 3/7)。
 8. [ここをクリック] のリンクをクリックします。
[ファイルのダウンロード] ダイアログが表示されます。
 9. [保存] をクリックして、プログラムをディスクに保存します。
[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。
 10. プログラム・ファイルを保存するフォルダを選択し、[保存] をクリックします。
ファイル転送の進行状況を示す [ダウンロード] ダイアログが表示され、選択したフォルダにファイルがコピーされると、「ダウンロードの完了」というメッセージが表示されます。
 11. [フォルダを開く] をクリックして、InstallShield ウィザードを開始します。

注意

デバイスにセキュア・デジタル (SD) カードがインストールされている場合は、M-Business Anywhere インストーラによって検出されます。SD カードが検出された場合に使用できるオプションの詳細については、「[Microsoft OS デバイスでセキュア・デジタル \(SD\) カードを使用する M-Business Client のインストール](#)」『[M-Business Anywhere Client ユーザ・ガイド](#)』を参照してください。

12. 画面の指示に従って、デスクトップ・コンピュータに M-Business Client をインストールします。
13. 次回同期すると M-Business Client がデバイスにインストールされることを示すメッセージが画面に表示されたら、[OK] をクリックします。

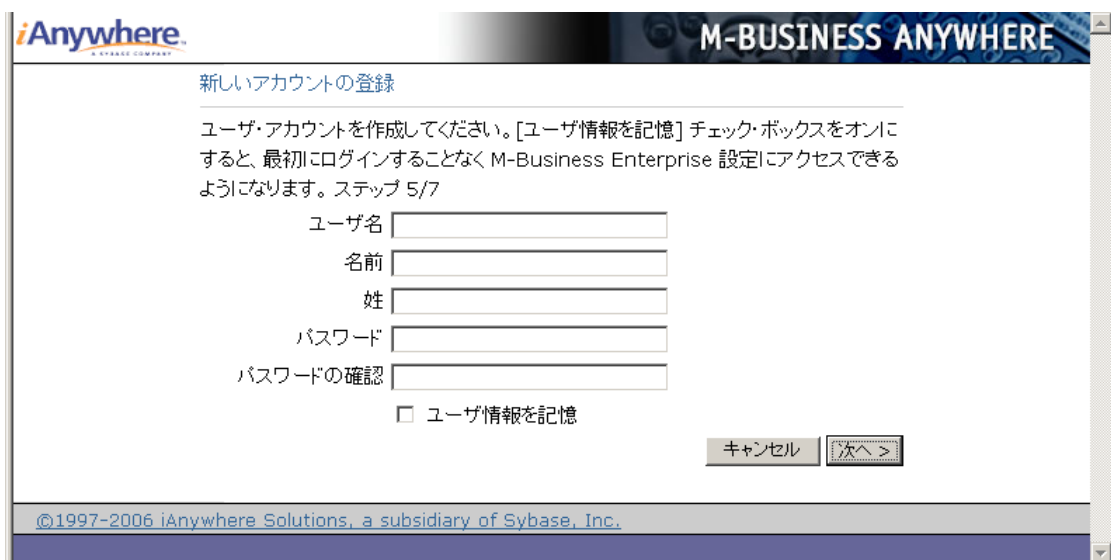
注意

M-Business Client とともに、M-Business Connect もデスクトップとモバイル・デバイスにインストールされます。M-Business Connect を使用すると、M-Business Client が M-Business Server と通信できるようになります。

14. [ダウンロード] 画面 (ステップ 3/7) が表示されているブラウザ・ウィンドウに戻ります。
15. ブラウザの [ダウンロード] 画面 (ステップ 3/7) で、[次へ] をクリックします。
[インストール] 画面 (ステップ 4/7) が表示されます。
16. [ダウンロード] ダイアログで [フォルダを開く] ボタンをクリックしてインストーラ・ファイルを実行した場合は、この画面を無視して、[次へ] をクリックできます。

インストーラ・ファイルを実行しないで [ダウンロード] ダイアログを閉じた場合は、[インストール] 画面 (ステップ 4/7) の指示を実行し、それが終了したあとで [次へ] をクリックします。

登録画面 (ステップ 5/7) が表示されます。



iAnywhere
A SYBASE COMPANY

M-BUSINESS ANYWHERE

新しいアカウントの登録

ユーザ・アカウントを作成してください。[ユーザ情報を記憶] チェック・ボックスをオンにすると、最初にログインすることなく M-Business Enterprise 設定にアクセスできるようになります。ステップ 5/7

ユーザ名

名前

姓

パスワード

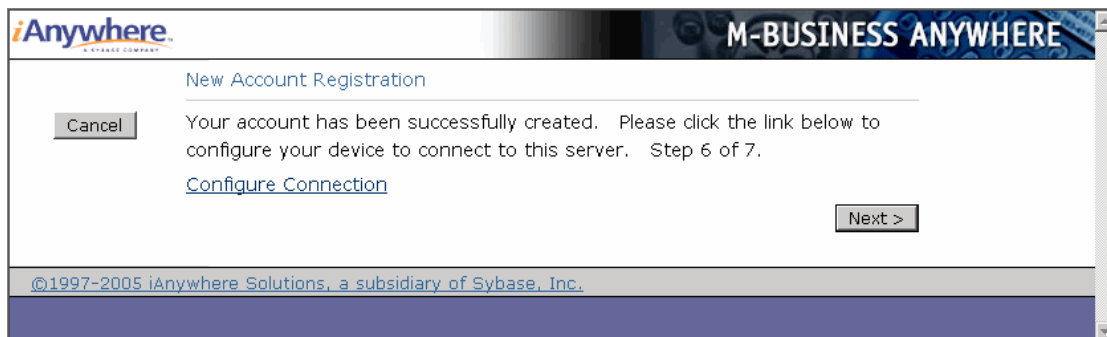
パスワードの確認

ユーザ情報を記憶

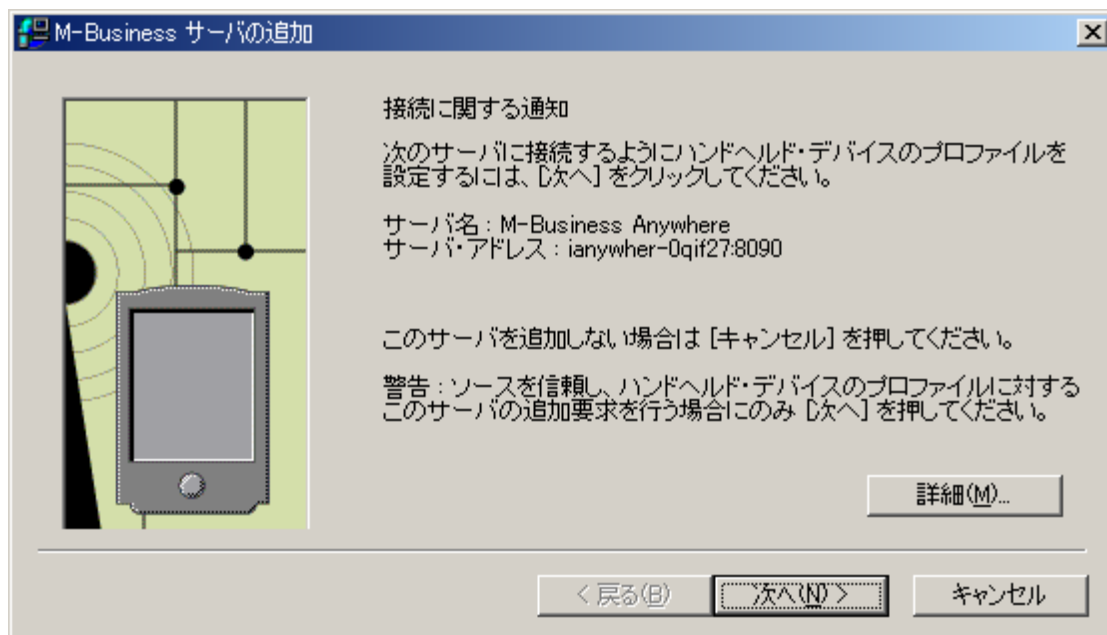
キャンセル

©1997-2006 iAnywhere Solutions, a subsidiary of Sybase, Inc.

17. [ユーザ名]、[名前]、[姓]、[パスワード]、[パスワードの確認] フィールドに情報を入力します。
アカウントにアクセスするたびにユーザ名とパスワードを再入力したくない場合は、[ユーザ情報を記憶] チェックボックスを選択します。
18. [次へ] をクリックします。
設定画面 (ステップ 6/7) が表示されます。アカウントがサーバに正常に追加されたことを示すメッセージが表示されます。このメッセージが表示されない場合は、システム管理者に連絡してください。



19. ブラウザの設定画面で、[接続の設定] をクリックします。
[M-Business Server の追加] ダイアログが表示されます。



20. [次へ] をクリックし、以降の画面の指示に従って、モバイル・デバイスのサーバへの接続を設定します。

21. ブラウザで設定画面に戻ったら、[次へ] をクリックします。

[Channel List for User...] ページが表示されます。

22. [Create a Channel for User] フォームで、フィールドに次のように入力します。

- ◆ [Title] には「Google Test」と入力します。
- ◆ [Location] には「http://www.google.com」と入力します。

23. [View] ボタンをクリックして、URL が動作することを確認します。

24. [View] ボタンをクリックして開いたブラウザ・ウィンドウを閉じます。

25. Google が表示されない場合、URL を修正して、もう一度 [View] ボタンをクリックします。

26. フォームの下部にある [Create] ボタンをクリックして、チャンネルを作成します。

デバイス、ユーザ、チャネルの設定テスト

◆ デバイス、ユーザ、チャネルの設定テスト

1. テスト・デバイスを同期します。

手順については、デバイスに同梱されているマニュアルを参照してください。

2. テスト・デバイスが Windows XP デバイス ではない場合は、もう一度同期します。

Windows XP 以外のプラットフォームの場合、最初の同期でデバイスにインストールされるのは M-Business Client のみです。テスト・チャネルの内容、すなわち Google ホームページは、2 度目の同期でダウンロードされます。

3. デバイスで M-Business Client を開始します。

Windows Mobile Pocket PC デバイス :

- ◆ [スタート]-[プログラム] をタップします。
- ◆ [M-Business Client] アイコンをタップします。



Windows XP デバイス :

- ◆ [スタート]-[すべてのプログラム]-[M-Business Client] をタップまたはクリックします。
- ◆ [M-Business Client] アイコンをタップまたはクリックします。



Windows Mobile デバイス :

- ◆ [スタート]-[M-Business Client] を選択します。

4. デバイスがオフラインであることを確認します。

接続の種類によっては、同期のあとでオンラインになるデバイスもあります。次の手順に示すオフラインのフォーム送信を、M-Business Client がどのように処理するかを確認するには、テスト・デバイスをオフラインにしてください。

Windows XP デバイス :

- ◆ [ファイル]-[オフラインで作業] をタップまたはクリックします。

Windows Mobile デバイス :

- ◆ [メニュー]-[オフラインで作業] を選択します。

5. [パーソナルチャンネル] で、[Google Test] リンクをタップし、チャンネルを表示します。



6. フォームマネージャを表示します。

テスト・チャンネルがデバイスに正常に同期されたので、次に、簡単なオフライン・フォーム送信のデモを行います。デバイスでフォームマネージャを使用して、空のフォーム・キュー、保留フォームを持つフォーム・キュー、そして最後に成功したフォーム送信の結果を表示します。最初に、空のフォーム・キューを表示します。

- ◆ Windows XP デバイス - 上部にある [ファイル] メニューをクリックまたはタップし、[フォームマネージャ] をタップします。
- ◆ Windows Mobile デバイス - [ツール]-[フォームマネージャ] を選択します。

フォームマネージャが開かれ、「現在、送信を保留中のフォームはありません」で始まるメッセージが表示されます。

7. 検索を実行します。

- ◆ [戻る] ボタンをタップし、[Google Search] ページに戻ります。
- ◆ [Google Search] ボタンのすぐ上にあるテキスト・フィールドをタップします。
- ◆ 検索語句として、「w3c」と入力します。
- ◆ [Google Search] ボタンをタップします。

フォーム送信が次の同期中に実行されることを示すメッセージが表示されます。

- ◆ [OK] をタップしてメッセージの受信を確認し、[Google Search] ページに戻ります。

8. 別の検索を実行します。

- ◆ [Google Search] ボタンのすぐ上にあるテキスト・フィールドをタップします。
- ◆ 検索語句として、「ieee」と入力します。
- ◆ [Google Search] ボタンをタップします。
- ◆ [OK] をタップして、メッセージの受信を確認します。

9. フォームマネージャを再度表示します。

- ◆ **Windows XP デバイス** - 上部にある [ファイル] メニューをタップまたはクリックし、次に [フォームマネージャ] をタップします。
- ◆ **Windows Mobile デバイス** - [ツール]-[フォームマネージャ] を選択します。

フォームマネージャが開かれます。今回は、送信した各検索フォームが 1 エントリとして表示されます。ステータスが保留の場合は、これらのフォームがデバイスからオフラインで送信されたものの、まだ同期によってサーバに送信されていないことを示します。

10. テスト・デバイスを同期します。

デバイスを同期するにはいくつかの異なる方法があります。デバイスを確実にオフライン・モードにしておくには、使用しているプラットフォームごとに次に示す方法を使用します。

- ◆ **Windows XP デバイス** - デバイスの M-Business Client で、上部にある [File] メニューをタップまたはクリックし、次に [Sync] をタップします。
- ◆ **Microsoft Mobile デバイス** - デバイスの M-Business Client で、[メニュー]-[すべて同期] を選択します。

同期が完了すると、デバイスの M-Business Client は自動的にそのホームに戻ります。

11. フォームマネージャを再度表示します。

- ◆ **Windows XP デバイス** - 上部にある [ファイル] メニューをタップまたはクリックし、次に [フォームマネージャ] をタップします。
- ◆ **Windows Mobile デバイス** - [ツール]-[フォームマネージャ] を選択します。

フォームマネージャが開かれます。送信した各検索フォームが 1 エントリとして表示される点は変わりませんが、今回はステータスが成功になり、これらのフォームがサーバから返された応答フォームであることが示されます。

12. 検索結果のページを表示します。

- ◆ [成功] リンクをタップし、そのフォームの検索結果を表示します。
- ◆ [戻る] ボタンをタップしてフォームマネージャに戻り、他の検索結果ページを表示します。

注意

検索結果ページにあるどのリンクをタップしても、「ページが見つかりません」というメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示される場合は、[戻る] ボタンをタップして、フォームマネージャに戻ります。

次の手順

Google Test チャンネル同期が成功した後、アプリケーションを作成したり、または既存のデスクトップ Web アプリケーションをモバイル化するには、「[モバイル・アプリケーションの設計ガイドライン](#)」『[M-Business Anywhere の紹介](#)』に進みます。このリンクが動作しない場合は、このマニュアルのダウンロード方法を「[関連マニュアル](#)」 [vi ページ](#)で確認してください。

索引

M

M-Business Anywhere

マニュアル・セット, vi

M-Business Server

Windows へのインストール, 2

インストール、次の手順, 14

システムの稼働条件, vii

M-Business Server のインストール

Windows 上, 2

し

システムの稼働条件

M-Business Server, vii

モバイル・デバイス, vii

ワークステーション, vii

せ

設定

テスト・チャネル, 5

テスト・ユーザ, 5

モバイル・デバイス, 5

て

テスト

テスト・チャネル, 11

テスト・ユーザ, 11

モバイル・デバイス, 11

テスト・チャネル

設定, 5

テスト, 11

テスト・ユーザ

設定, 5

テスト, 11

ま

マニュアル

M-Business Anywhere マニュアル・セット, vi

内容、デベロッパ・クイック・スタート・ガイド, vi

も

モバイル・デバイス

システムの稼働条件, vii

設定, 5

テスト, 11

わ

ワークステーション

システムの稼働条件, vii
